

## 2. 歳入の内訳

### 平成20年度 一般会計歳入内訳

(単位：千円、%)

款	平成20年度		平成19年度		増減額	増減率	
	予算額	構成比	予算額	構成比			
自主財源	市税	6,254,898	26.1	6,295,829	23.4	△ 40,931	△ 0.7
	分担金及び負担金	146,181	0.6	151,023	0.6	△ 4,842	△ 3.2
	使用料及び手数料	632,894	2.6	767,455	2.9	△ 134,561	△ 17.5
	財産収入	145,690	0.6	120,750	0.4	24,940	20.7
	寄附金	5,188	0.0	5,325	0.0	△ 137	△ 2.6
	繰入金	1,090,391	4.5	1,230,152	4.6	△ 139,761	△ 11.4
	うち特別会計繰入金	180,691	0.7	347,252	1.3	△ 166,561	△ 48.0
	うち基金繰入金	909,700	3.8	882,900	3.3	26,800	3.0
	繰越金	200,000	0.8	200,000	0.7	0	0.0
	諸収入	525,037	2.2	539,511	2.0	△ 14,474	△ 2.7
	小計	9,000,279	37.5	9,310,045	34.6	△ 309,766	△ 3.3
依存財源	地方譲与税	363,000	1.5	366,000	1.4	△ 3,000	△ 0.8
	利子割交付金	30,000	0.1	25,000	0.1	5,000	20.0
	配当割交付金	38,000	0.2	25,000	0.1	13,000	52.0
	株式等譲渡所得割交付金	25,000	0.1	27,000	0.1	△ 2,000	△ 7.4
	地方消費税交付金	494,000	2.1	515,000	1.9	△ 21,000	△ 4.1
	自動車取得税交付金	230,000	1.0	270,000	1.0	△ 40,000	△ 14.8
	地方特例交付金	44,000	0.2	50,000	0.2	△ 6,000	△ 12.0
	地方交付税	8,100,000	33.8	7,750,000	28.8	350,000	4.5
	うち普通交付税	7,300,000	30.4	6,900,000	25.6	400,000	5.8
	うち特別交付税	800,000	3.4	850,000	3.2	△ 50,000	△ 5.9
	交通安全対策特別交付金	11,000	0.0	11,000	0.0	0	0.0
	国庫支出金	1,352,996	5.6	1,195,021	4.4	157,975	13.2
	県支出金	1,649,925	6.9	2,773,534	10.3	△ 1,123,609	△ 40.5
	市債	2,656,800	11.1	4,592,400	17.1	△ 1,935,600	△ 42.1
小計	14,994,721	62.5	17,599,955	65.4	△ 2,605,234	△ 14.8	
合 計	23,995,000	100.0	26,910,000	100.0	△ 2,915,000	△ 10.8	

### ○歳入内訳の解説

#### ◆自主財源

皆さんに納めていただく税金や使用料など、市が自主的に収入しうる財源をいいます。

- 市税…市民税や固定資産税など
- 繰入金…基金(市の貯金)の取り崩しなど
- 使用料及び手数料…公共施設の使用料など
- 諸収入…資源ごみ売却料や預金利子など
- 繰越金…前年度から繰り越されたお金
- その他…各種事業分担金や土地売払収入など

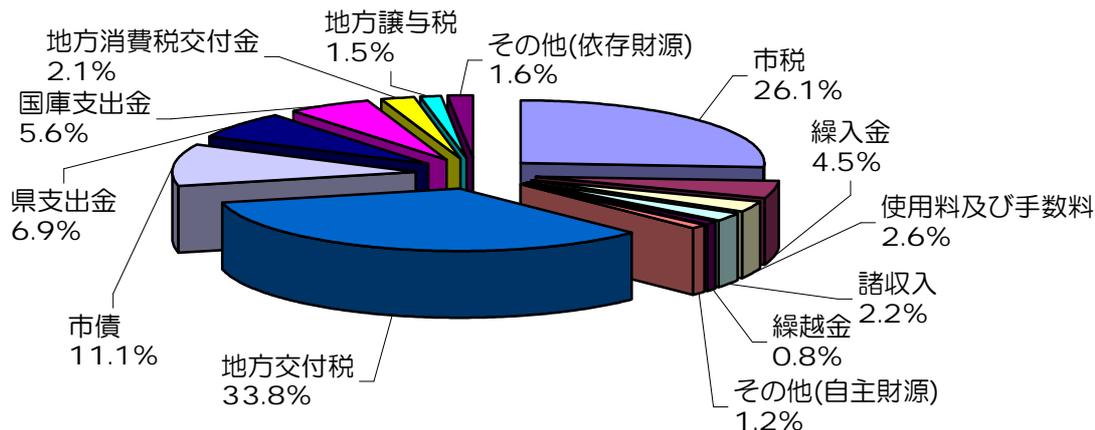
#### ◆依存財源

国や県によって定められた額を交付されたり、配分されたりする収入をいいます。

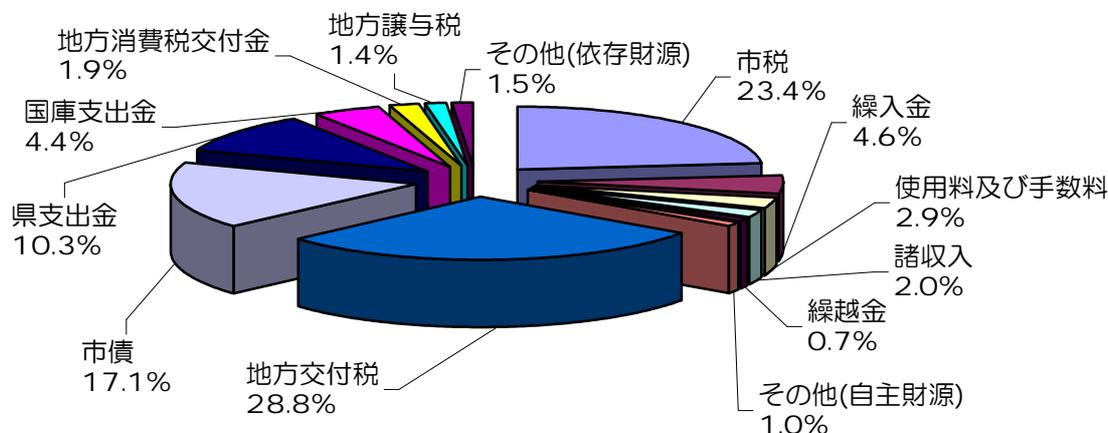
- 地方交付税…地方の財源の均衡を図るため国から交付されるお金
- 市債…事業をする際に銀行などから借りるお金
- 国庫・県支出金…事業に対する国・県からの補助
- 地方消費税交付金…地方消費税の一部を財源として、県から交付されるお金
- 地方譲与税…国税として徴収され、一律的に譲与されるお金
- その他…その他に国・県から交付されるお金。自動車取得税交付金、地方特例交付金など

## 一般会計歳入構成表

平成20年度



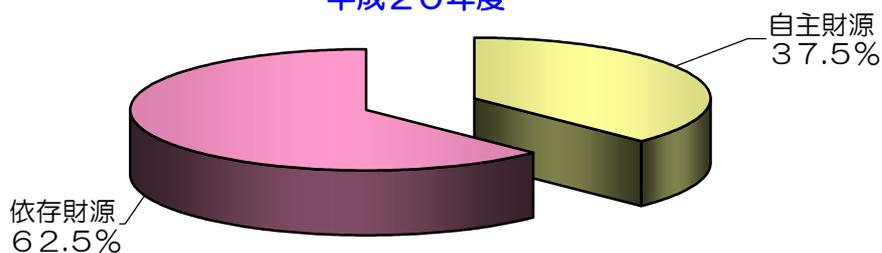
平成19年度



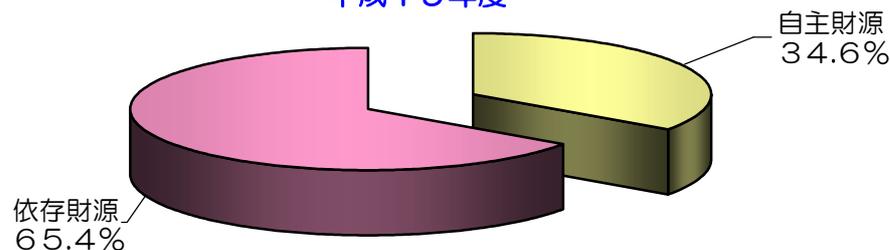
※ その他(自主財源)…分担金及び負担金、財産収入、寄附金の合計  
 その他(依存財源)…自動車取得税交付金、地方特例交付金、配当割交付金、利子割交付金、株式等譲渡所得割交付金、交通安全対策特別交付金の合計

## 一般会計歳入内訳 (自主財源と依存財源)

平成20年度



平成19年度



※ 自主財源の割合が多いほど、その団体の財政運営の自主性と安定性が確保されます。  
 上記グラフから、平成19年度と比べ自主財源の割合が増えたものの、依然、歳入の60%以上を依存財源によって賅っていることがわかります。